

世界自然遺産の小笠原諸島で共に働きませんか！

小笠原村立小笠原中学校



小笠原諸島は、日本の南海に散在する大小30余の島々から成り立っています。亜熱帯に属し、気温の年較差が少ない小笠原は、世界でも有数の透明度の高さを誇る海に囲まれ、独自の生態系の動植物を有する自然の宝庫です。北から聳島列島、父島列島、母島列島、火山（硫黄）列島、及び西之島、南鳥島、沖ノ鳥島の三つの孤立島からなっています。父島は、東京の南約1,000kmにあり、その広さは千代田区の2倍余りの約24km²です。一番高い山は中央山319m、島の周囲52kmです。小笠原は亜熱帯に位置し、気温の変化が比較的少ない海洋性のしおぎやすい気候です。父島における昨年の年間平均気温は24.2℃、最高気温は33.4℃、最低気温は12.8℃で、一年を通じ雪や霜は全く見られません。

【教育目標】 よく学び、考え、行動する人
やさしくたくましい人
社会の一員として貢献できる人

【校訓】 「紳士たれ 淑女たれ」



校舎の近景

昭和43年（1968年）6月、それまで米国統治下にあった小笠原諸島が日本に返還され、同時に小笠原中学校も開校しました。平成30年度はその50周年という節目を迎え、盛大に記念式典が行われました。また、平成23年（2011年）小笠原諸島はユネスコの世界自然遺産に登録され、日本だけではなく世界的に注目を集めています。この貴重な自然を守りながら、豊かな島民生活を発展させるとともに、世界に小笠原の良さを発信し、人を呼び、多くの産業が循環することによって持続可能な社会を構築していくことが、小笠原に暮らす者としての責務であると考えます。次の50年に向けて、直面する課題に立ち向かい、果敢に挑戦できる未来の島民を育てていくのが小笠原中学校の使命です。



校地の全景

【公募制度により赴任した先生の感想】

島しょ地区教員公募制度により、かねてより希望していた小笠原での勤務の夢が叶いました。東京から週に1本の船が唯一の交通手段ということで不安もありましたが、いざ生活してみると大きな不便もなく、安心しました。素直でまっすぐな生徒たち、温かい先生方、明るい島民の方々に支えていただき、毎日楽しく仕事をする事ができています。豊かな自然と美しい海に囲まれた小笠原でしか経験できない毎日は、私の人生にとって貴重な経験になると感じています。

小笠原村立小笠原中学校 〒100-2101 東京都小笠原村父島字宮之浜道
電話04998-2-2502 ファクシミリ04998-2-3850

学校ホームページ

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



小笠原中学校の1年

(令和3年度当初の予定)

4月 出迎え式
始業式
入学式
生徒会オリエンテーション
新入生歓迎レクリエーション
交通安全教室
生徒総会
こどもまつり(地域行事)※中止

5月 修学旅行(3年)※10月に延期
夜明山戦跡調査(2年)
救命救急講習会

6月 東平外来種駆除活動(1年)
期末考査

7月 遠泳大会
セーフティ教室
薬物乱用防止教室
部活動内地遠征(都大会等)

8月 海洋センターボランティア
母島移動教室(1年)

9月 中間考査
小中高連合運動会
生徒会役員選挙

10月 硫黄島訪島事業(2年)
生徒総会

11月 期末考査

12月 職場体験(2年)
音楽発表会
総合発表会(3年)

1月 百人一首大会
ロードレース大会
総合発表会(1・2年)

2月 道徳授業地区公開講座
学年末考査

3月 海洋調査(3年)
球技大会
卒業遠足(3年)
3年生を送る会
卒業式
郷土講座(1・2年)
修了式
離任式
見送り式



←**出迎え式**
生徒に温かく迎えてもらい、小笠原での生活が始まります。

母島移動教室(1年)→
母島を訪れ、小笠原の自然の直接体験を通して学びます。



←**夜明山戦跡調査(2年)**
平和学習として、小笠原の戦争の歴史を学びます。

遠泳大会→
学校近くの透明度の高い海で、仲間とともにゴールを目指します。



←**海洋センター**
ボランティア
アオウミガメの保護活動を行います。

小中高連合運動会→
島の一大イベントで、地域の方々も参加して盛り上げられます。(昨年度は中止)



←**海洋調査(3年)**
船に乗ってクジラやイルカに関する調査活動を行います。

硫黄島訪島事業(2年)→
硫黄島を訪れ、慰霊祭への参加等を通して、平和の大切さを学びます。(昨年度は中止)

